

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 9 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	自主避難訓練は行っているが、消防署立ち合いでの訓練が実施できていない。また、近隣、地域との協力体制の構築と備蓄品の準備が不十分である。	災害時の避難が迅速かつ安全にできるように、職員及び近隣住民の避難協力体制をつくる。 又、備蓄品を準備し、災害に備える。	①消防署立ち合いの避難訓練を行い、指導を仰ぐ。 ②災害マニュアルの見直し、備蓄品の準備をする。 ③職員や近隣住民との避難協力体制をつくる。 ④全体の訓練以外に、グループホーム単独でも	12ヶ月
2	33	重度化や終末期にむけた方針を明文化し、ご本人やご家族に説明と同意を得られていない。また、職員の研修と施設の方針を共有すると共に、協力体制を整える事が課題である。	重度化や終末期になった場合の指針を明文化し、出来る限りご本人やご家族のご希望に沿えるように努めたい。また、職員全員が理解を深め、心構えやケアの体制をつくる。	①重度化や終末期にむけた対応指針を明文化し、ご本人やご家族に説明、同意を得る。 ②職員全員が指針を共有し、日頃からの心構えと体制づくりができるように研修を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。